

コロナ禍後の大学教育像

コロナ禍は日本の大学教育にとっては大きな危機となりましたが、その反面で遠隔授業の使い方など、大学、教員、そして学生は様々な経験を得ました。遠隔技術を用いてどのような新しい大学教育・授業が考えられるのか、それを実現するには何が必要か。大学教育改革のこれまでの流れの中で、それをどう位置付けることができるのか。こうした点を話題提供者と会場の参加者が討論します。

2022年3月24日(木)

15:00~17:30

主催: IDE大学協会・千葉大学

会場: 一橋大学 一橋講堂 2階会議室
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)
※内容はZoomウェビナーでも公開

● 話題提供

「ハイブリッドな学びと大学教育の革新」

溝上 慎一(桐蔭横浜大学 学長)

「コロナ禍後の大学教育像」

金子 元久(筑波大学 特命教授)

● 司会

吉田 文(早稲田大学 教授)

■参加費: (Zoomウェビナー参加を含む)

IDE個人会員(維持・学生)、千葉大学教職員は無料。

一般(非個人会員) 1,000円

■申込方法: IDE大学協会ウェブサイトに掲載の申込URLよりお申込みください

■申込締切: 定員(会場50人, ウェビナー80人)になり次第締切

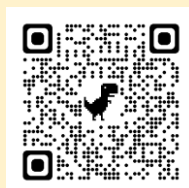
※ 今後開催方式が変更になる可能性がございます。

詳細はIDEのウェブサイト (<http://www.ide-web.net/>) をご覧ください。

問合せ先: ide-forum@ide-web.net

↓ 申込フォーム ↓

<会場参加>



<ウェビナー参加>

